

**JANOME**



株主のみなさまへ  
**第81期報告書**



蛇の目ミシン工業株式会社

証券コード：6445

株主のみなさまには、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。  
また、日頃より暖かいご支援を賜りまして、厚く御礼申し上げます。  
ここに第81期（2006年4月1日から2007年3月31日まで）の事業の概況についてご報告申し上げます



代表取締役社長

加藤 隆一

### （1）事業の状況

当期におきましては、原油価格の上昇は一段落したものの、製造原価に直接影響を及ぼす金属材料を中心とする原材料価格が高止まり状態にあり、また、国内営業において外部環境が変化するなど、厳しい状況が続きました。

こうした状況のなか、当社グループは、積極的な市場開拓・生産性向上による原価低減など、グループ一体となって効率的経営に努める一方、国内外においてM&Aを行なうなど、将来を見据えた事業基盤の強化を図りました。

これらの結果、**当社グループの総売上高は、487億2千9百万円**となりました。また、**経常利益は18億7千1百万円、当期純利益は4億6千1百万円**となり、有利子負債の削減などによる財務体質の改善・強化を図ったため、当社は16年振りに配当を実施することになりました。

事業セグメント別の概況は次のとおりであります。

### <ミシン関連事業>

世界的に、低価格機種分野を中心に一層の競争激化がみられたものの、当社グループは大型で高品質な刺繍ができる多針刺繍機など顧客ニーズに応える新機種の開発およびミシン関連ソフト・アクセサリーの充実を進めるとともに、新規市場の開拓、ディーラーに対する販売支援を強化するなど積極的な販売促進に努めました。

海外市場においては、北米量販店向け販売では苦戦を強いられましたが、中南米、中近東地域をはじめ新規市

場の開拓が順調に進んだことなどにより、海外市場での販売台数は155万台（前期比8万台増）、**売上高は269億8千4百万円**（前期比8億8千万円増）となりました。

国内市場においては、訪問販売を取り巻く環境に厳しさが増すなか、新形態のソーイング教室の展開などによりミシン需要の喚起・拡大に努めましたが、平均販売単価の低下も相まって、**売上高は、94億6千4百万円**（前期比12億1千7百万円減）となりました。

以上の結果、**ミシン関連事業の総売上高は、364億4千8百万円**（前期比3億3千7百万円減）となりました。

### <産業機器事業>

主要商品の卓上ロボット、スカラロボットなどのロボットシリーズおよびエレクトロプレスの売上高は、自動車関連業界における設備投資が依然活発なことや欧州連合向け輸出品に関する環境規制（有害物質使用制限）をクリアしようとするメーカーからの需要があったことなどから、好調に推移し、その他ダイカスト鋳造品、真空注型装置、小ロット鋳造の売上拡大にも注力した結果、**産業機器事業の総売上高は、46億8千5百万円**（前期比2億4千5百万円増）となりました。

### <24時間風呂・整水器事業>

24時間風呂につきましては、市場の低迷が長期化するなか、各種展示会への出展、新規販売ルートの開拓などにより、新規需要の掘り起こし、買換え需要の取込みに努めました。

整水器につきましても、全国直営支店を中心にお客様の需要喚起に向けた販売促進キャンペーンを展開するなど、売上拡大に努めました。

しかしながら、**24時間風呂・整水器事業の総売上高は、前期比6億3千5百万円減の24億7千万円**となりました。

### <情報処理他サービス事業>

ITソフトウェア・情報処理サービス、24時間風呂の据付・メンテナンスサービスなどに、不動産賃貸収入を加えた**情報処理他サービス事業の総売上高は、51億2千5百万円**（前期比8千1百万円増）となりました。

## (2) 財政状態

当社グループの当連結会計年度末の**総資産は、595億5千3百万円**（前期比5億5千2百万円減）となりました。

**負債の部**では、有利子負債が前期に比べ33億9千4百万円減少したこと等により、**371億7千9百万円**（前期比

25億8千7百万円減)となりました。

**純資産の部**(少数株主持分を含む)は、**223億7千3百万円**(前期比20億3千5百万円増)となりました。

**営業活動によるキャッシュ・フロー**は**16億1千7百万円のプラス**となりました。(前期比18億9千1百万円減)  
この主な要因は税金等調整前当期純利益の減少、売上債権の増加によるものです。

**投資活動によるキャッシュ・フロー**は**21億1千万円のマイナス**となりました。(前期比54億7千9百万円減)  
この主な要因は、設備投資ならびに子会社株式取得に伴う支出によるものです。

**財務活動によるキャッシュ・フロー**は、**24億1千7百万円のマイナス**となりました。(前期比16億3千2百万円増)この主な要因は、借入金の減少によるものです。

当連結会計年度末における**現金及び現金同等物**は前連結会計年度末から28億8千万円減少し**30億6千7百万円**となりました。

### (3) 今後について

当社グループは、常に高品質で価値ある商品とサービスの提供を通じて社会・文化の向上に貢献するべく、法令等遵守のもと、各ステークホルダーの皆様と健全で良好な関係を維持しつつ、適正で効率的な経営に努めております。

ミシン関連事業につきましては、原材料価格の高止まり、低価格機種分野を中心とした競争の激化など厳しい状況が続くものと思われませんが、当社グループは高品質で価値ある商品・サービスの提供によるお客様満足度のアップを図り、販売の拡大を目指します。産業機器事業分野におきましては、企業収益の改善を背景とした設備投資需要が拡大する中、グローバルな販売・サービス拠点の整備・強化による更なる成長を図ってまいります。

次期の連結業績予想につきましては、連結売上高で500億円(前期比2.6%増)、連結営業利益で28億円(前期比41.1%増)、連結経常利益24億円(前期比28.3%増)、連結純利益は10億円を計画しております。

株主の皆様におかれましては、変わらぬご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2007年6月

※詳細につきましては、当社ホームページをご覧ください。**ホームページ** <http://www.janome.co.jp>



# 連結財務諸表

連結貸借対照表 (2007年3月31日現在)

(単位：百万円)

科 目	金 額	科 目	金 額
<b>(資産の部)</b>		<b>(負債の部)</b>	
<b>流動資産</b>	<b>23,932</b>	<b>流動負債</b>	<b>17,162</b>
現金及び預金	3,885	支払手形及び買掛金	4,677
受取手形及び売掛金	9,005	短期借入金	8,086
有価証券	589	一年以内償還予定の社債	1,250
たな卸資産	8,737	未払法人税等	399
繰延税金資産	1,298	賞与引当金	585
その他	698	役員賞与引当金	23
貸倒引当金	△ 282	その他	2,140
		<b>固定負債</b>	<b>20,017</b>
<b>固定資産</b>	<b>35,620</b>	社 債	2,100
<b>有形固定資産</b>	<b>24,628</b>	長期借入金	7,328
建物及び構築物	4,425	再評価に係る繰延税金負債	5,137
機械装置及び運搬具	1,145	退職給付引当金	4,262
土地	16,813	役員退職慰労引当金	418
建設仮勘定	1,047	その他	770
その他	1,195	<b>負債合計</b>	<b>37,179</b>
		<b>(純資産の部)</b>	
<b>無形固定資産</b>	<b>2,292</b>	<b>株主資本</b>	<b>17,457</b>
のれん	1,662	資本金	11,372
その他	629	資本剰余金	823
		利益剰余金	5,266
<b>投資その他の資産</b>	<b>8,700</b>	自己株式	△ 4
投資有価証券	2,564	<b>評価・換算差額等</b>	<b>4,216</b>
繰延税金資産	5,013	その他有価証券評価差額金	146
その他	1,180	繰延ヘッジ損益	△ 2
貸倒引当金	△ 59	土地再評価差額金	4,369
		為替換算調整勘定	△ 296
		<b>少数株主持分</b>	<b>699</b>
<b>資産合計</b>	<b>59,553</b>	<b>純資産合計</b>	<b>22,373</b>
		<b>負債・純資産合計</b>	<b>59,553</b>

連結損益計算書 (2006年4月1日から2007年3月31日まで)

(単位：百万円)

科 目	金	額
売 上 高		48,729
売 上 原 価		25,584
売 上 総 利 益		23,144
販売費及び一般管理費		21,159
営 業 利 益		1,985
営 業 外 収 益		
受 取 利 息	74	
受 取 配 当 金	36	
為 替 差 益	264	
持 分 法 に よ る 投 資 利 益	4	
そ の 他	173	553
営 業 外 費 用		
支 払 利 息	435	
有 価 証 券 運 用 損	38	
そ の 他	193	667
経 常 利 益		1,871
特 別 利 益		
投 資 有 価 証 券 売 却 益	457	
そ の 他	15	473
特 別 損 失		
固 定 資 産 売 却 及 び 除 却 損	156	
事 業 再 編 費 用	133	
弁 護 士 費 用 等	128	
た な 卸 資 産 評 価 損	95	
関 係 会 社 清 算 損	54	
そ の 他	37	605
税 金 等 調 整 前 当 期 純 利 益		1,740
法 人 税 住 民 税 及 び 事 業 税	606	
法 人 税 等 調 整 額	637	1,244
少 数 株 主 利 益		34
当 期 純 利 益		461

連結キャッシュ・フロー計算書 (2006年4月1日から2007年3月31日まで)

(単位：百万円)

科 目	金	額
営業活動によるキャッシュ・フロー		1,617
投資活動によるキャッシュ・フロー		△ 2,110
財務活動によるキャッシュ・フロー		△ 2,417
現金及び現金同等物に係る換算差額		29
現金及び現金同等物の増減額 (減少：△)		△ 2,880
現金及び現金同等物の期首残高		5,947
現金及び現金同等物の期末残高		3,067

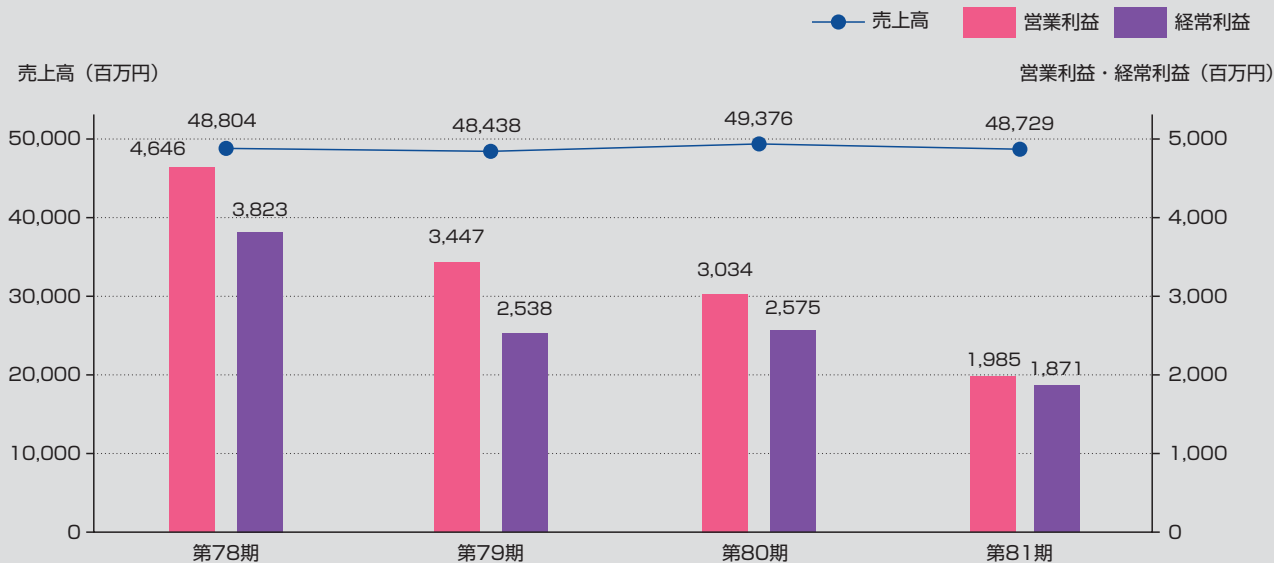
連結株主資本等変動計算書（2006年4月1日から2007年3月31日まで）

（単位：百万円）

	株 主 資 本					評価・換算 差 額 等	少数株主持分	純資産合計
	資 本 金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計			
平成18年3月31日 残高	10,622	3,000	1,892	△ 4	15,510	4,221	607	20,339
連結会計年度中の変動額								
新株の発行	749	749			1,499			1,499
当期純利益			461		461			461
自己株式の取得				△ 0	△ 0			△ 0
自己株式の処分		0		0	0			0
資本準備金から利益剰余金への振替		△ 2,926	2,926		-			-
土地再評価差額金取崩			△ 13		△ 13			△ 13
株主資本以外の項目の 連結会計年度中の変動額（純額）					-	△ 4	92	87
連結会計年度中の変動額合計	749	△ 2,176	3,374	△ 0	1,947	△ 4	92	2,034
平成19年3月31日 残高	11,372	823	5,266	△ 4	17,457	4,216	699	22,373

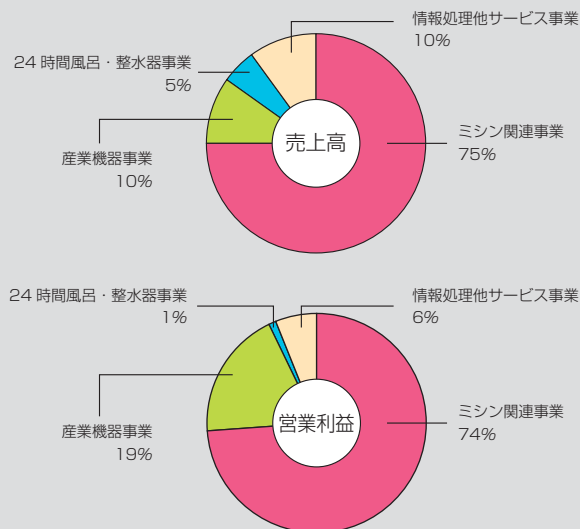
## 連結決算推移

### ●売上高・営業利益・経常利益

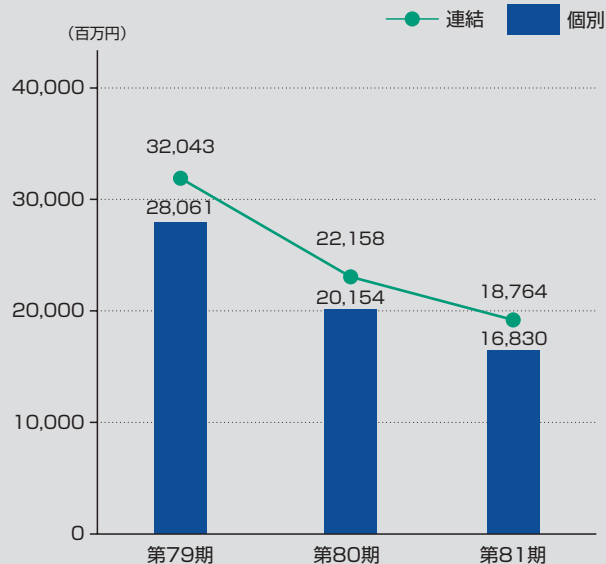


●連結セグメント情報 (2006年4月1日~2007年3月31日)

事業の種類別セグメント



●有利子負債残高推移



株式の状況

発行可能株式総数 3億6,000万株  
 発行済株式総数 1億9,521万4,448株 (前期末比667万8,539株増)  
 当期末株主数 24,512名 (前期末比1,608名増)

株主構成比率 (所有株式数ベース)





## 個別財務諸表

個別貸借対照表 (2007年3月31日現在)

(単位: 百万円)

科 目	金 額	科 目	金 額
<b>(資産の部)</b>		<b>(負債の部)</b>	
<b>流動資産</b>	<b>16,112</b>	<b>流動負債</b>	<b>15,637</b>
現金及び預金	2,129	支払手形	321
受取手形	1,170	買掛金	5,933
売掛金	6,264	短期借入金	6,590
有価証券	589	一年以内償還予定の社債	1,250
製品及び商品	1,387	未払金	39
原材料	816	未払費用	664
仕掛品	138	未払法人税等	157
貯蔵品	49	月掛予約前受金	24
前払費用	77	預り金	161
繰延税金資産	961	賞与引当金	353
短期貸付金	2,081	役員賞与引当金	20
その他の流動資産	521	その他の流動負債	122
貸倒引当金	△ 75		
<b>固定資産</b>	<b>35,333</b>	<b>固定負債</b>	<b>18,143</b>
<b>有形固定資産</b>	<b>20,353</b>	社 債	2,100
建物及び造作	3,247	長期借入金	6,890
構 築 物	42	再評価に係る繰延税金負債	5,137
機 械 装 置	52	退職給付引当金	3,034
車両運搬具	3	役員退職慰労引当金	253
工具器具及び備品	472	未払功労金	510
土 地	15,797	預り保証金	218
建設仮勘定	738		
<b>無形固定資産</b>	<b>556</b>	<b>負債合計</b>	<b>33,781</b>
借地借家権	427	<b>(純資産の部)</b>	
その他の無形固定資産	128	<b>株 主 資 本</b>	<b>13,152</b>
<b>投資その他の資産</b>	<b>14,423</b>	資 本 金	11,372
投資有価証券	2,476	資本剰余金	823
関係会社株式	6,437	利益剰余金	960
長期貸付金	275	自己株式	△ 4
長期売掛債権	20	<b>評価・換算差額等</b>	<b>4,512</b>
長期差入保証金	456	その他有価証券評価差額金	145
繰延税金資産	4,431	繰延ヘッジ損益	△ 2
その他の投資等	383	土地再評価差額金	4,369
貸倒引当金	△ 56		
<b>資産合計</b>	<b>51,446</b>	<b>純資産合計</b>	<b>17,664</b>
		<b>負債・純資産合計</b>	<b>51,446</b>

個別損益計算書 (2006年4月1日から2007年3月31日まで) (百万円)

科 目	金 額	金 額
<b>売 上 高</b>		<b>37,366</b>
<b>売上原価</b>		<b>25,334</b>
<b>売上総利益</b>		<b>12,031</b>
販売費及び一般管理費		10,927
<b>営業利益</b>		<b>1,104</b>
<b>営業外収益</b>		
受取利息	62	
有価証券利息	2	
受取配当金	1,251	
為替差益	80	
雑収入	66	1,463
<b>営業外費用</b>		
支払利息	279	
有価証券運用損	38	
雑 損	194	511
<b>経常利益</b>		<b>2,057</b>
<b>特別利益</b>		
投資有価証券売却益	454	
固定資産売却益	0	454
<b>特別損失</b>		
固定資産売却及び除却損	135	
事業再編費用	133	
弁護士費用等	128	
たな卸資産評価損	90	
関係会社清算損	43	532
<b>税引前当期純利益</b>		<b>1,980</b>
法人税、住民税及び事業税	244	
法人税等調整額	762	1,006
<b>当期純利益</b>		<b>973</b>

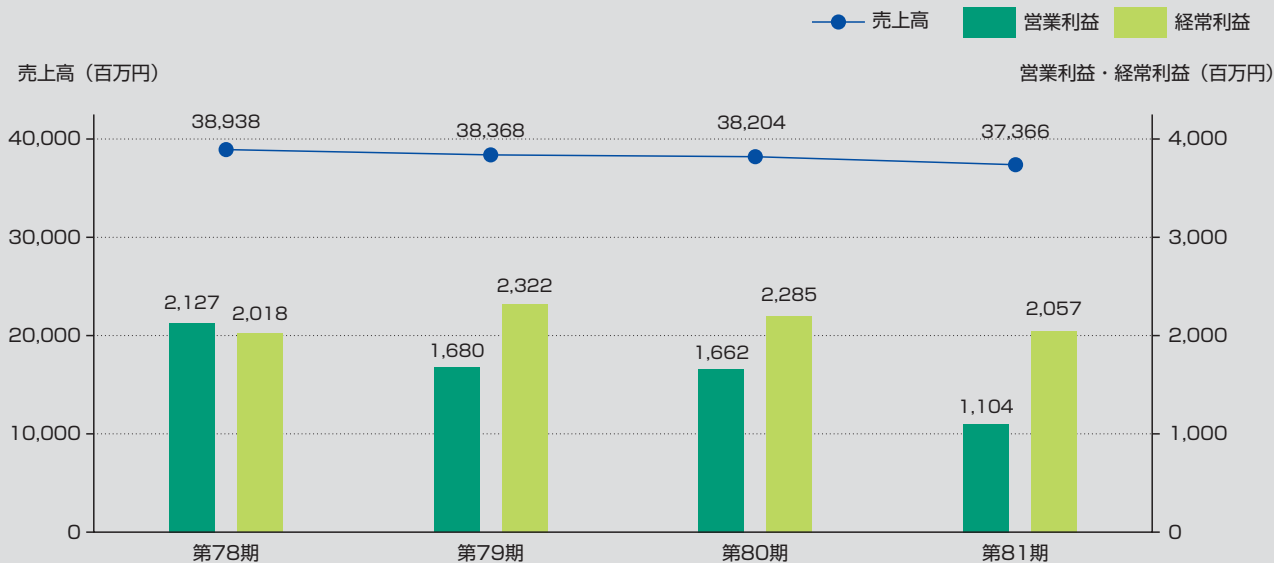
個別株主資本等変動計算書（2006年4月1日から2007年3月31日まで）

（単位：百万円）

	株 主 資 本					評価・換算差額等	純資産合計
	資 本 金	資本剰余金	利益剰余金	自 己 株 式	株主資本合計		
平成18年3月31日 残高	10,622	3,000	△ 2,926	△ 4	10,691	5,010	15,702
事業年度中の変動額							
新株の発行	749	749			1,499		1,499
当期純利益			973		973		973
自己株式の取得				△ 0	△ 0		△ 0
自己株式の処分		0		0	0		0
資本準備金から利益剰余金への振替		△ 2,926	2,926		-		-
土地再評価差額金取崩			△ 13		△ 13		△ 13
株主資本以外の項目の 事業年度中の変動額（純額）					-	△ 497	△ 497
事業年度中の変動額合計	749	△ 2,176	3,886	△ 0	2,460	△ 497	1,962
平成19年3月31日 残高	11,372	823	960	△ 4	13,152	4,512	17,664

## 個別決算推移

### ●売上高・営業利益・経常利益



### ●「東京国際キルトフェスティバル」に協賛出展（2007年1月19日～27日）



当社は9日間にわたり東京ドームで開催された「東京国際キルトフェスティバルー布と針と糸の祭典2007ー」に、協賛企業としてブース初出展を行いました。

東京国際キルトフェスティバルは、開催期間中の総来場者数

が約26万人と日本国内最大級のキルトショーで、初日の内覧会には秋篠宮妃紀子さまや各国大使などが観覧されました。

著名なキルト作家を講師に招き開講したミニ教室では、キルトミシン、ニードルパンチングマシンを使った作品づくりを紹介し、受講者に体験していただきました。

会場となった東京ドームのバックスクリーン上にあるオーロラビジョンには、時報とともに協賛企業の紹介映像が流れ、当社のプロモーション映像も大々的に映し出されたほか、外野スタンドには横3メートル大の当社ロゴが掲示されました。このような協賛企業ならではのPRもでき、多くの来場者に「ジャンメ」ブランドを認識してもらう好機となりました。

### ●長期優先債務“格付”の取得（2007年3月27日）

当社は、第三者の立場からの客観的な評価を取得することにより、資金調達の多様化・有利性の確保を図り、あわせて当社の「信用力」をPRするため、株式会社日本格付研究所（JCR）より、新規に“格付”を取得いたしました。

今後はこの格付をスタートとし、さらに上位の格付取得を目指し、収益・財務内容の改善に全社的に取り組んでいく予定です。

格付対象：長期優先債務

格付：BBB-

見通し：安定的

## 株主メモ

決算期	毎年3月31日
定時株主総会	6月下旬
基準日	3月31日
株主名簿管理人	東京都港区芝三丁目33番1号 中央三井信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都杉並区和泉二丁目8番4号（〒168-0063）
（電話照会先）	中央三井信託銀行株式会社 証券代行部
（郵便物送付先）	電話 0120-78-2031（フリーダイヤル）
同 取 次 所	中央三井信託銀行株式会社 全国各支店 日本証券代行株式会社 本店・全国各支店
株式取扱手数料	名義書換……………無料 新券交付……………1枚につき200円 単元未満株式の買取りおよび買増し ……………株式の売買の委託に係る手数料 ……………相当額として別途定める金額
公告掲載新聞	東京都において発行する日本経済新聞 貸借対照表および損益計算書に関する情報は、当社ホームページ <a href="http://www.janome.co.jp">http://www.janome.co.jp</a> に掲載しております。

## お知らせ

◎住所変更、単元未満株式買取および買増請求、名義書換請求、株券喪失登録手続に必要な各用紙のご請求は、下記株主名簿管理人中央三井信託銀行のフリーダイヤルまたはホームページをご利用ください。

- フリーダイヤル 0120-87-2031（24時間受付：自動音声案内）
- ホームページ [http://www.chuomitsui.co.jp/person/p\\_06.html](http://www.chuomitsui.co.jp/person/p_06.html)

## 蛇の目マシン工業株式会社

〒104-8311 東京都中央区京橋3-1-1 TEL. 03 (3277) 2071